

**白土 美恵子 議員**  
**発達障害を持つ児童生徒のために特別支援教育を**  
 —授業のユニバーサルデザイン化に取り組み—

**問** 小・中学校の発達障害が心配される児童・生徒の人数は。

**答** 平成27年度は383人で全校児童生徒の3%である。

**問** 小・中学校において、発達障害が心配される児童・生徒が増えている。日野市ではユニバーサルデザインを取り入れ、すべての子が共に学べる環境づくりを実施している。導入の考

**新村 健治 議員**

**女性の活躍のために希望に応じた働き方の実現を**  
 —策定中の特定事業主行動計画に反映させるよう取り組み—

**問** 非正規職員として一生懸命働いている方の正規採用の門戸を広げる考えはあるか。

**答** 保育士、幼稚園教諭の臨時職員が正規職員としての採用を希望する場合、採用試験の受験資格を45歳までとし、チャレンジできる環境を整えている。

また、今年度実施した採用試験では、専門試験を免除する受験枠を新たに設け、採用の可能性を広げる取り組みを実施した。

**問** 女性活躍推進法に基づく女性管理職の割合目標をどこに設定しているか。

**答** 管理職に占める女性比率

**山内 智彦 議員**  
**健全な行政運営を続け、市のさらなる発展のために**  
 —必要な職員数確保と将来を担う人材の育成を図る—

**問** 本市のように国から地方交付税が交付されない「不交付団体」は、全国で何%か。また、メリットは何か。

**答** 平成26年度は約3%。自主財源割合が高いことで、円滑な行政運営ができるほか、将来を見据えたまちづくりのために自由度高く様々な独自施策を展開できることが挙げられる。

**加藤 賢次 議員**  
**全国に先駆け、自動ブレーキ搭載車の購入補助を**  
 —交通事故対策として期待できるため調査研究していく—

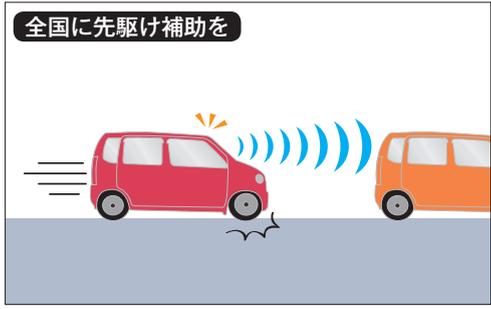
**問** 新聞に高齢者の絡んだ事故がよく掲載されている。本市における75歳以上の運転免許保有状況と自主返納の状況は。

**答** 保有者は5,011人。自主返納者は65歳以上のデータになるが、220人で返納率は1%前後である。

**問** 返納者が増えない要因は。

**答** 通院や買い物、農作業などで自動車が必要だと考えられない状況になっていると考えられる。

**問** 高齢ドライバーの安全を守るため、全国に先駆け、事故を防ぐ効果の高い「自動ブレーキ搭載車」の購入補助を実施してはどうか。



事故を未然に防ぐ自動ブレーキシステム

**答** 交通事故対策への取り組みとして期待できるため、効果や価格などを調査研究していく。

**松永 寿 議員**

**市民の安心安全のため、各種施策の推進を**  
 —市民福祉の向上のため、新たな施策を展開していく—

**問** 犯罪の温床となり得る空き家について、放置される前に活用することも視野に入れる必要があると考えるがどうか。

**答** 空き家対策を住宅施策に位置づけ、跡地の活用に関する取り組みなどを検討・推進する。また、空き家調査とともにデータベースの整備を図っていく。

**問** 障害者支援の取り組みは。

**答** 活用できるように検討していく。

**渡邊 妙美 議員**

**市民目線のわかりやすい子育て情報の発信を**  
 —今後も市民の声を参考に内容の検討を行っていく—

**問** ウェブサイト「かりやSmileねっと」の今後の運用をどのように考えているか。

**答** 講座やイベントなどの最新の情報を提供していくことや、積極的に多くの情報を子育て家庭に配信していくことにより、さらなる充実を図っていききたい。

**問** 子育て家庭が必要とする情報の提供は、市民の声を直接

**議会トピックス**

**災害時における議会の対応について研修を実施**



議員研修会の様子

策本部とどのように連携を図るのか、さらには、議会が機能を維持し、迅速な意思決定にどのように繋げていくのかなどについてご講義いただき、大変有意義な内容でありました。

**議員避難訓練を実施**

3月3日、本会議中に地震が発生したことを想定した議員の防災訓練を実施。災害発生から避難までの一連の流れを確認しました。

2月1日、山梨学院大学法学部政治行政学教授の江藤俊昭氏を招き、「災害時における議会の対応」と題し、研修会を開催しました。

南海トラフ地震などの発生が危惧されている本市では、市民と行政、また、地域の

一員である議員が協働で、防災・減災対策を推進し、危機管理体制を構築していく必要があります。

講演では約2時間にわたり、災害時に議員がどのような役割を担うのか、また、地域の



訓練の様子

**編集後記**  
**かけはし**

◆新緑が鮮やかに映え、バラやかきつばたが楽しめる季節となりました。市内を散策し、新しい発見をさせてはいかがでしょうか。身近な公園の整備や防災・防犯対策などの各種施策に、皆様の声を反映させることで、さらに安心・快適なまちづくりを推進して参ります。

◆法人市民税の一部国税化の影響により、本市は今年度約8億円の減収となる見込みです。また、来年度以降も歳入の大きな増加を見込みます。

込むことが難しくなります。市民生活を守るため、市議会は、是正を求める意見書(5ページに掲載)を3月定例会初日に可決し、国に提出しました。

◆刈谷に住みたい、住み続けたいと思って頂くために、まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画が始まりました。高いアンテナを張り、長期的な視点から効率的で有効性の高い新しい切り口の政策を提案してまいります。

◆最後に、議会活動を解りやすく、さらに興味をもって頂けるよう、議会だよりの内容について工夫を凝らし、市民の皆様にお伝えして参ります。

(議会広報委員会)